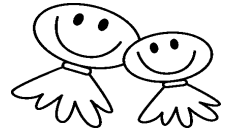


6月の園だより

令和7年6月 富田林市立錦郡幼稚園



こどもたちが『教えて』くれる
～ 土台は“体験の豊かさ”にあり ～

「幼稚園に通い始め、毎日、園で“〇〇したよ!”や“お歌いっぱい歌ったよ!” “〇〇くんお休みやったの。”など、お話をしてくれて、楽しんでいるのだろうと感じていたのですが、実際に園で過ごしている姿を見て、楽しんで過ごしている我が子の姿に嬉しくなりました。通い始めてから自分でできることも増えたり、くつ下やタオルなど『たーたんで たーたんでっ♪』と、園で歌っている歌に合わせてお手伝いをしてくれたりと、日々、成長を感じます。お忙しい中、いつも丁寧に保育をして下さりありがとうございます。」(4/30保育参観感想より)

常々、こどもたちの豊かな感性を創造するために何ができるかを考え、微力ながら行動に移しているのですが、保護者のみなさんと私たち職員が『ともに歩む』ことの大切さや、『ともに感じる』ことの嬉しさを共有させていただき、勇気と自信を持って日々の教育活動を進めていくことができると喜んでおります。

『ぷにゅぷにゅ』してる!」これはある生き物に触れたこどもの言葉なのですが、何に触れたかおわかりになりますか。実は『ドジョウ』です。おとなのイメージでは、『にゅるにゅる』してる!」となるような気がするのですが、『にゅるにゅる』は、実物を見たことはあるけれど触ったことがない、あるいは、実物を見たことがなく図鑑やインターネット等でのみ知っている(本当は知らない)人たちの見ため(によろ)からきているようです。先日、プール裏の溝にいた天然の『(赤ちゃん)ドジョウ』(何と素敵環境!)を網ですくってバケツに移し、こどもたちに見せたのですが、ある子が勇気を出して、実際に素手で触った時に発した言葉が『ぷにゅぷにゅ』。こどもたちは実際に触れてみて、その感触のみならず、『いのち』についてもしっかりと学んでいるのです。

最近読んだ本の冒頭は、こんな言葉で始まっています。

こどもを育てるときに、本当に大切なこと—

それは、豊かな体験をたくさんさせてあげることです。

また私がよくいう、『幼稚園は人間の土台を創るところ』に関連して、

学力の高い子に育てるにも、仕事力の高い人に育てるにも、思いやりの心を育てるにも、自分らしさを持つにも、土台は“体験の豊かさ”にある。

とも書かれてありました。

『地域のこどもは地域の宝』『地域のこどもは地域で育てる』

引き続き、保護者や地域のみなさんの応援をいただきながら、錦郡小学校とともに、より豊かな体験活動を創造してまいります。

園長 塩野 義和

『毎日ひとつチャレンジしよう!』(Every Day One Challenge)